



表4-5 輸入食品モニタリング検査（検査担当検査所分のみ記載）

検査項目	本 所													
	検査ヒタ-		検		検		査		課					
	横	神	成	関	東	大	福	浜	戸	田	空	京	阪	岡
一般生菌数	○ (832)	○ (1838)	○ (18)	○ (41)	○ (166)	○ (35)	○ (0)	○ (832)	○ (1838)	○ (18)	○ (41)	○ (166)	○ (35)	○ (0)
大腸菌群	○ (902)	○ (1048)	○ (111)	○ (41)	○ (424)	○ (143)	○ (167)	○ (902)	○ (1048)	○ (111)	○ (41)	○ (424)	○ (143)	○ (167)
<i>Escherichia coli</i>	○ (792)	○ (1359)	○ (64)	○ (33)	○ (104)	○ (39)	○ (254)	○ (792)	○ (1359)	○ (64)	○ (33)	○ (104)	○ (39)	○ (254)
黄色ブドウ球菌	○ (167)	○ (24)	○ (0)	○ (5)	○ (78)	○ (6)	○ (0)	○ (167)	○ (24)	○ (0)	○ (5)	○ (78)	○ (6)	○ (0)
サルモネラ属菌	○ (166)	○ (24)	○ (3)	○ (4)	○ (31)	○ (11)	○ (11)	○ (166)	○ (24)	○ (3)	○ (4)	○ (31)	○ (11)	○ (11)
クストリジウム属菌	○ (12)	○ (29)		○ (4)	○ (7)	○ (5)	○ (0)	○ (12)	○ (29)		○ (4)	○ (7)	○ (5)	○ (0)
腸球菌	○ (1)	○ (8)		○ (1)	○ (0)	○ (0)		○ (1)	○ (8)		○ (1)	○ (0)	○ (0)	
緑膿菌	○ (1)	○ (8)		○ (1)	○ (0)	○ (0)		○ (1)	○ (8)		○ (1)	○ (0)	○ (0)	
腸炎ビブリア	○ (19)	○ (696)	○ (340)	○ (125)	○ (11)	○ (2)	○ (0)	○ (19)	○ (696)	○ (340)	○ (125)	○ (11)	○ (2)	○ (0)
発育しうる微生物	○ (20)	○ (31)	○ (3)	○ (0)	○ (25)	○ (3)		○ (20)	○ (31)	○ (3)	○ (0)	○ (25)	○ (3)	
腸管出血性大腸菌O157	○ (561)	○ (925)	○ (118)	○ (33)				○ (561)	○ (925)	○ (118)	○ (33)			

リステリア	○ (242)	○ (84)						
ボツリヌス(菌・毒素)	○ (0)	○ (0)						
残留抗生物質	○ (870)	○ (572)	○ (120)	○ (77)	○ (926)			
伝染性海綿状脳症	○ (10)	○ (8)						

○：即検査可能。

( )：数字は、昨年度実績。

表4-6 他機関との連携で実施している検査

検査所	対象	項目	目	連携機関	検査所の役割
成田空港	ヒト	マラリア		東京慈恵会医科大学	スクリーニング検査
成田空港	ヒト	デング熱		国立感染症研究所	スクリーニング検査
名古屋空港	ヒト	アメーバ赤痢		国立公衆衛生院	スクリーニング検査
名古屋空港	ヒト	ジアルジア症		国立公衆衛生院	スクリーニング検査
名古屋空港	ヒト	クリプトスポロジウム症		国立公衆衛生院	スクリーニング検査
名古屋空港	ヒト	下痢起因ウイルス（ポリオ等）		愛知県衛生研究所	検体採取
名古屋空港	ヒト	インフルエンザ		愛知県衛生研究所	検体採取
名古屋空港	ネズミ	遺伝学的検査		東京都臨床医学総合研究所	検体採取
清水	ネズミ	HFRS		静岡県環境衛生科学研究所	血清の採取
小樽	ネズミ	HFRS		北海道大学	血清の採取
関西空港	ベクター	交通機関により侵入してくる衛生害虫		国立感染症研究所	同定・分類
横浜	蚊	港湾由来の侵入昆虫の実態調査		国立感染症研究所	同定・病原体検査
横浜	食肉	VRE		群馬大学	検体採取
神戸	食肉	VRE		群馬大学	検体採取
各検査所	ヒト	HIV		国立感染症研究所	スクリーニング検査

## 資料 5-1 ; CDC 訪問報告

### ●訪問スケジュールおよび訪問先リスト

Jan.30.2001

#### CDC本部

・ David W.Fleming, M.D.

Deputy Director for Science and Public Health

[DWFleming@cdc.gov](mailto:DWFleming@cdc.gov)

・ Mark E.White, M.D, FACPM

Director for Division of International Health Epidemiology Program Office

[mhwl@cdc.gov](mailto:mhwl@cdc.gov)

・ Scott F.Dowell, M.D., M.P.H

Acting Associate Director for Global Health Office of the Director

[SDowell@cdc.gov](mailto:SDowell@cdc.gov)

Jan.30.2001

#### 研究室部門

・ Charles A.Schable, M.S.

Deputy Director for Division of Aids, STD and TB Laboratory Research

[cas1@cdc.gov](mailto:cas1@cdc.gov)

-----  
Jan.31.2001

#### 結核根絶プログラム訪問

・ Kenneth G. Castro, M.D.

Assistant Surgeon General Director Divison of TB Elimination

National Centec for HIV, STD, & TB Prevention

[kgc@cdc.gov](mailto:kgc@cdc.gov)

・ Scott McCombs, M.P.H

Deputy Chief Surveillance and Epidemiology Branch (Divison of TB

Elimination)

[sym1@cdc.gov](mailto:sym1@cdc.gov)

・ Richard J. O'brien, M.D.

Chief Research and Evaluation Branch (Divison of TB Elimination)

[rjo1@cdc.gov](mailto:rjo1@cdc.gov)

· Noreen L. Qualls, DrPH, MSPH  
Prevention Effectiveness Section  
Research and Evaluation Branch (Division of TB Elimination)  
[nlq0@cdc.gov](mailto:nlq0@cdc.gov)

· Dan Ruggiero  
Program Consultant (Division of TB Elimination)  
[dar0@cpstb1.em.cdc.gov](mailto:dar0@cpstb1.em.cdc.gov)

· Zachary Taylor, M.D., M.S.  
Chief Field Service Branch (Division of TB Elimination)  
[Ztaylor@cdc.gov](mailto:Ztaylor@cdc.gov)

-----  
Feb.1.30.2001

Public Health Laboratory of Georgia

## 資料-5-2; ジョージア州の届け出疾患

### すぐに報告

集団発生をおこす全ての疾病

動物咬傷

炭疽

アルボウイルス脳炎

ボツリヌス

ブルセラ症

コレラ

ジフテリア

病原性大腸菌 O-157 感染症

\*インフルエンザ菌感染症(invasive)

ハンタウイルス肺感染症

溶血性尿毒症症候群

A 型肝炎(急性)

麻疹

髄膜炎(特定の病原体によるもの)

\*髄膜炎菌髄膜炎(invasive)

百日咳

ペスト

ポリオ

Q 熱

狂犬病(ヒトおよび動物例)

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症(MIC>4mcg./ml)

梅毒(先天性および成人例)

結核

野兔病

### 7日以内に報告

AIDS

無菌性髄膜炎

キャンピロバクター感染症  
癌  
軟性下疳  
性器クラミジア感染症  
クリプトスポリジウム感染症  
サイクロスポーラ感染症  
ehrlichiosis 感染症  
ジアルジア症  
淋病  
#HIV 感染症  
B 型肝炎(急性)  
C 型肝炎(急性)  
\*\*HBsAg 陽性キャリアー(新規発生例)  
\*\*HbsAg 陽性妊婦  
血中鉛>10ug/dl  
レジオネラ症  
レプトスピラ症  
\*リステリア症(invasive)  
ライム病  
lymphogranuloma venereum  
マラリア  
流行性耳下腺炎  
オウム病  
ロッキー山紅斑熱  
風疹(先天性を含む)  
サルモネラ症  
赤痢  
\*A 群および B 群溶連菌感染症(invasive)  
\*薬剤耐性肺炎球菌感染症(invasive)  
破傷風  
トキシックショック症候群  
チフス

ヒブリオ感染症

エルシニア症

\*Invasive=isolated from blood, bone, CSF, joint, pericardial fluid, peritoneal fluid, or pleural fluid.